

会 議 録

会議名	平成25年度第4回文化財保護審議会
事務局	生涯学習課
開催日時	平成26年2月12日(水) 午前10時から12時00分
開催場所	小金井市役所第2庁舎802会議室
出席者	委員 (出席) 田中・二宮・孤島各委員 (欠席) 福嶋
	事務局 天野課長・伊藤・倉澤
傍聴の可否	◎可・不可・一部可
	傍聴者：なし
不可の理由	

会 議 次 第

会議内容

報 告

- 1 文化財センター企画展・文化財講演会・多摩郷土誌フェア開催結果について(資料1)
- 2 平成26年度閻魔堂木造閻魔王坐像修理計画について
- 3 空林荘の再建を求める陳情について

議 題

- 1 旧谷口家のオニイタヤの指定について(資料2)
- 2 空林荘跡地の説明板について(資料3)

そ の 他

第5期文化財保護審議会就任の意思確認について

視 察

市天然記念物『松島家のサンシュユ』の現状について

次回の会議日程

平成26年5月14日(水) 10:00～

配布資料

- 資料1 文化財センター企画展・文化財講演会・多摩郷土誌フェア開催結果
- 資料2 小金井市文化財指定審議資料
- 資料3 空林荘説明板(案)

## 会 議 結 果

(要点筆記)

### 1 報 告

#### 報告1 文化財ウィーク主催事業について

(事務局：倉澤) 11月3日～12月23日にかけて開催した企画展『地図に見る小金井』および、11月16日に開催した文化財講演会『桜樹接種記念碑と国木田独歩文学碑』の来場者数は資料1のとおり。講演会については直前まで参加者が集まらなかったため、急きょチラシとポスターを作成し、公民館・図書館に配布した。周知の方法を来年度に向けて検討したい。

今年度の多摩郷土誌フェアは2月1日・2日の2日間、立川市女性総合センターAIMで開催した。昨年度まではオリオン書房の協賛で、書店内で開催していたが、今年度からは自治体の独自開催となった。開催日数も3日間から2日間に短縮され、売り上げは大幅に減少した。売れ筋の『名勝小金井 桜絵巻』が完売しており、新刊図書もなかったことも売り上げが伸びなかったことの一因である。来年度以降、参加の是非も含めて検討したい。

(事務局：伊藤) 概説的なものはある程度売れるが、市史や資料集などはなかなか売れない。また、開催場所が立川だったので、立川市とその周辺地域のものは売れるが、小金井市のものは売れない。

(事務局：天野課長) ただ、多摩地域の市町村が一同に会し、販売することに異議がある。他市との関連もあるので、簡単に小金井市だけ抜けるというわけにはいかない。

(二宮委員) 今回の開催結果を受けて中身の議論もこれからあると思うので、それを踏まえて今後の方向性を検討すると良い。

(事務局：天野課長) 来年度、「市史近代資料編」発刊、桜絵巻の増刷を予定しているの、それらがいい方向に影響してくれるといい。

(孤島委員) 企画展『地図に見る小金井』の来館者数は例年と比べてどうか。

(事務局：倉澤) ほぼ例年通り。

(事務局：伊藤) 企画展に合わせて図録などを作成し、販売できるとよいが、それも予算の都合上難しい。

(孤島委員) 小中学校の団体利用はあったか。

(事務局：伊藤) ほとんどなかった。客層のほとんどは年配の方たち。

(二宮委員) 学校に広報するなど、教員に浸透させるとよいのではないか。

(田中会長) 来年度以降本審議会で、講演会や企画展のテーマについて検討してみてもよい。

#### 報告2 平成26年度閻魔堂木造閻魔王坐像修理計画について

(事務局：天野課長) 前回の審議会で、本件修理の補助金については、補助金検討委員会にかけ審議してもらおう予定だと報告していたが、要綱の改正を伴わない1件単位の案件のため、補助金検討委員会で審議する必要はなく、予算査定の中

で決めることとなった。

東京都の要綱にならう形で、50%プラス加算率35%で要求したが、結果その半分が予算としてついた。この結果を所有者に伝えたところ、残りの額を来年度だけでは負担しきれないとのことだったため、来年度は薫蒸のみを行うこととなった。薫蒸のみを行うとして改めて予算要求を行った結果、金額が少ないこともあり、そのうちの85%補助が出ることとなった。

来年度以降、同様のケースがあった場合その都度単独で予算査定を行うと、所有者も計画が立てづらいと思うので、今後要綱を補助率や、上限を明記したものに改正したいと考えている。

(田中会長) 他市の補助率はどの程度か。

(事務局：天野課長) 50%程度の自治体が多い。

### 報告3 空林荘の再建を求める陳情について

(事務局：天野課長) 空林荘の再建を求める陳情については、12月の議会で、含意は分かるが、現状を鑑みすぐには再建できないという内容の「主旨採択」という議決を得た。

### 議題1 旧谷口家のオニイタヤの指定について

(事務局：天野課長) 平成26年1月14日に開催された第1回教育委員会定例会で、旧谷口家のオニイタヤの指定について諮問することを諮った結果、小金井市文化財保護条例41条の規定に基づき、諮問することが決定したため、本審議会で協議していただきたい。内容は資料2のとおり。

(事務局：倉澤) 一資料2指定理由読み上げ 指定理由は主に福嶋委員が作成した。所有者は東京都のため、指定には所有者の同意が必要となるが、既に同意書を受領済み。

(田中会長) 所有地は敷地内のどの部分か。

(事務局：伊藤) 敷地内の西側約半分が所有地。建物を含む東側は私有地。

(孤島委員) このオニイタヤの寿命はあと何年ぐらいと予想されるか。

(事務局：倉澤) 先日、福嶋委員に診てもらったところ、あと20～30年は大丈夫とのことだった。

(田中会長) 本件に関しては、以前から視察や議論を続けており、指定することに特に問題はないと思うが、いかがか。

(各委員) 異議なし。

(事務局：天野課長) 文化財保護審議会から答申を得たということでもいいか。

(各委員) 異議なし。

### 議題2 空林荘跡地の説明板について

(事務局：倉澤) 前回の審議会で、空林荘の説明板については焼失前の写真等も掲載し、従来のものより一回り大きくするとの方向性を決めしたが、財政状況が厳しく、予算がつかなかったため、従来通りのサイズで作成したい。

(事務局：伊藤) 写真は、下村湖人が空林荘の縁側に腰かけているものがないのではないかと思い、探したところ適当な写真があった。元の説明文の字数ぐらいだと、ハガキ1枚分ぐらいの写真が入るのではないか。文面を協議していきたい。

(田中会長) 火災で焼失したことは載せた方がよい。また、焼失してしまっているので、指定年月日は入れなくてよい。

(二宮委員) 元の説明文はとてもよく練られているので、あまり変更しない方がよい。焼失したことだけを付け加えればいいのではないか。ただ、空林荘が貴重な文学遺跡として市史跡に指定されていることは、文の最後に入れた方がいい。

(田中会長) まとめると、「市史跡」表記は残し、指定年月日は削除する。説明文の最後に火災で焼失した旨を入れる、ということでもいいか。

(各委員) 異議なし。

(事務局：伊藤) では本日協議した文に修正し、空林荘と下村湖人の写真を掲載するスペースを確保する。レイアウト等は事務局で原案を作成する。

#### その他 第5期文化財保護審議会就任の意思確認について

(事務局：天野課長) 江戸東京たてももの園の建築物の文化財指定については、現在も継続審議になっているため、新たに建築がご専門の先生を文化財保護審議委員として委嘱したいと考えている。東京都から紹介をいただき、打診している先生がいる。

(事務局：伊藤) 東京都が行った近代和風建築の総合調査の際に、小金井市域を担当され、浴恩館やたてももの園の建築物についても調査された方であり、適任と思われる。

(田中会長) 人選は事務局に一任する。定員は7名なので、もう1～2人新たにもお願いしてもいいのではないか。現在は理系の委員が多いので、文系の方を希望する。

(事務局：伊藤) なかなか小金井の郷土史等に詳しい方がいないが、検討する。

#### 視察 市天然記念物『松島家のサンシュユ』の現状について

(事務局：倉澤) 昨年末、市天然記念物『松島家のサンシュユ』の所有者から連絡があり、サンシュユが2～3年前ごろから枯れ始めているので、一度委員会で視察してほしいとのこと。状況を見て、今後の方針等を検討したい。

##### <現地視察>

(各委員) 今は葉がない時期なので、どの程度の枯れかははっきりしないが、かなり経年変化が進行している様に見える。このサンシュユ自体の再生が難しいようであれば、接ぎ木等の方法も福嶋委員を含め検討したほうが良いのではないか。

以 上